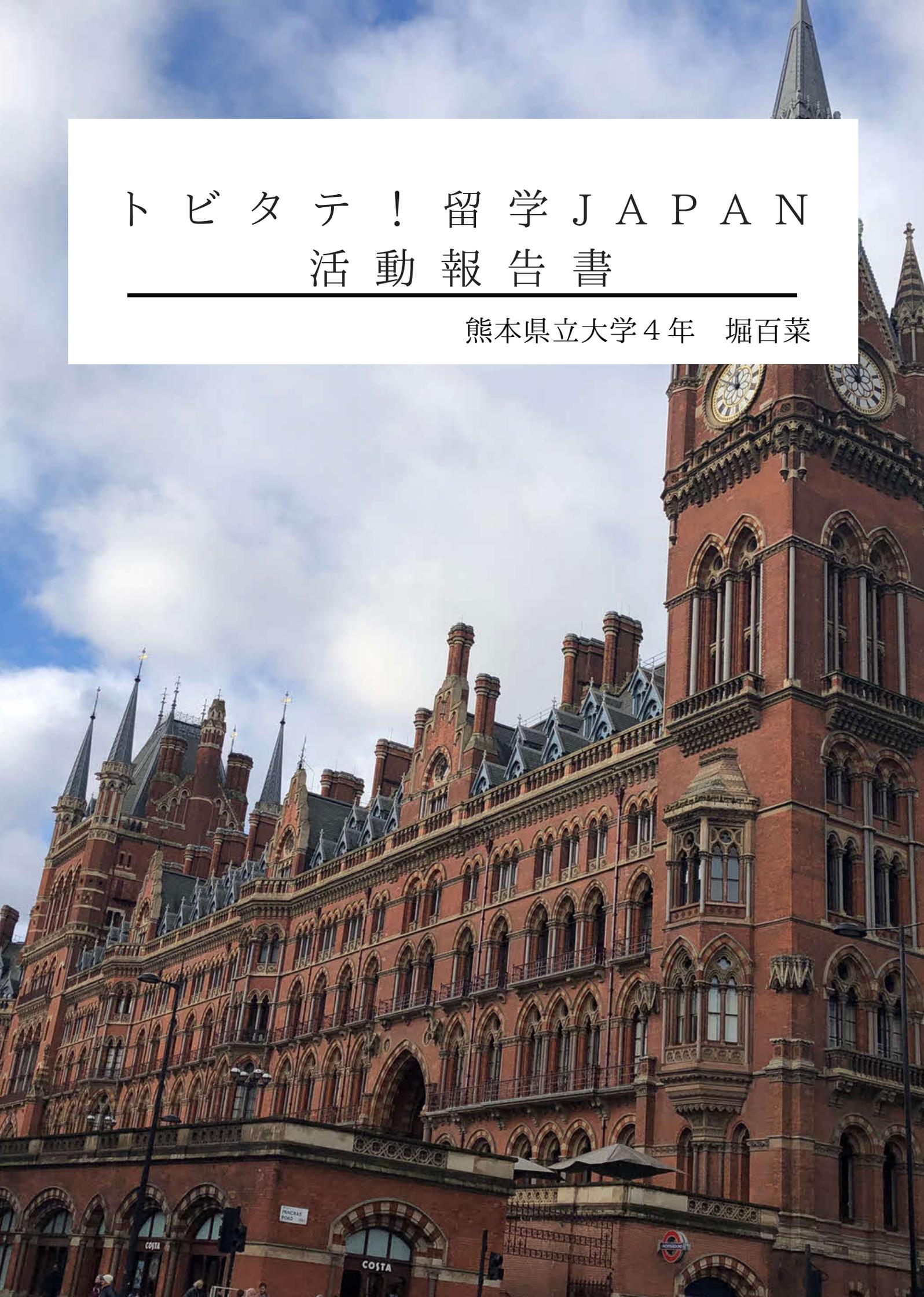


トビタテ！留学 J A P A N 活動報告書

熊本県立大学4年 堀百菜



はじめに

自己紹介

熊本県立大学英語英米文学科4年生です。
大学では異文化コミュニケーション分野を学んでいます。学生時代は、観光業や国際交流に興味があり、訪日外国人観光客に向けガイドボランティア活動をしていました。



留学目的

「通訳ガイドのノウハウを 観光先進国で学ぶ」
熊本でガイド活動を行う中で感じた「国際交流の機会」「インバウンド対応」の課題を解決するため、9ヶ月間の留学を計画しました。



留学詳細

期間

2019年9月～2020年3月 6ヶ月間
(新型コロナウイルス蔓延により短縮)

留学先

フィリピン バギオ (3ヶ月)
└ 語学学校での英語力向上

イギリス ロンドン (3ヶ月)

└ インターン、ガイド見学





フィリピン

2019.9～2019.12

平日のスケジュール

7:00	起床	19:00	単語テスト
8:00	授業開始	20:00	TOEIC模試開始
	リスニング		
	リーディング	22:00	TOEIC模試終了
	スピーキング	23:00	採点后復習
18:00	授業終了	25:00	就寝



活動内容

毎日英語漬けの日々でしたが、同じ留学生と励まし合い乗り越えました。土日はみんなでビーチに行ったり、島へ旅行に出かけました。日本人の少ない環境だったため、周りとの英語で話し英語能力を伸ばしました。その努力もあり、TOEICは留学前550点前後だったのが、最後は800点まで伸ばすことが出来ました。次のイギリスでの活動に向けた基礎作りが出来ました。

印象に残ったこと

11月に私の誕生日を祝ってくれたことです。同じ語学学校に通う留学生の友達がサプライズで祝ってくれました。韓国やベトナム、台湾など国籍は違えど芽生えた友情に感動し、涙が出るほど嬉しかったです。英語を学ぶだけでなく、英語をコミュニケーションのツールとして使い、人間関係を構築できたことに達成感を覚えました。





イギリス

2020.1～2020.3

活動内容

主に、インターン業務とツアーガイドの参加、各国での観光業の調査を行いました。熊本で出会ったガイドさんとの大きな違いは、「情報の新鮮度とエンターテインメント性」です。イギリスのプロガイドさんには、毎年時事問題も含めたガイドの試験があるようで、情報が常にインプットされているそうです。また、エンターテインメント性に関しては、国ごとのエンタメ情報を得るため、その国のテレビ番組をリアルタイムでチェックするほどの徹底ぶりでした。訪れてくれた人に寄り添って、心の底から楽しませたいという強い気持ちがガイドの方から伝わってきました。

困難だったこと

目標はインターン業務内で通訳ガイドと繋がること、観光業やガイドの日本との違いを学ぶことでした。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、業務内容が理想の業務とずれがあったためインターン内では学ぶことができませんでした。そこで仕事外で通訳ガイドと繋がろうと考え、国際交流会に3ヶ月で20回参加しました。他にも自ら現地のツアーに参加し、ガイド後ガイドさんにインタビューすることで、積極的にコミュニケーションを取っていきました。その中でさまざまな年代国籍の人と話し、インターンでの成果以上の学びを得る事ができました。

学んだこと

今回大きな収穫としては、多言語対応の進み具合です。ヨーロッパは基本どの国に行っても駅や地図の言語が、英語、フランス語、日本語、韓国語、中国語など様々な国の方が理解できるよう工夫されていました。博物館や美術館でのガイドもオーディオ化されていたり、文章が無く視覚効果の多い展示など、その国の言葉がわからなくても施設を楽しめるようになっていました。熊本もこれから外国人観光客が増える中で、このような言語対応を進めることは必要だと感じました。



留学を終えて



熊本での活動

今回の留学の経験を活かし、熊本では後輩たちへの支援を行いました。熊本北高校への出前授業、大学講義内でトビタテとの連携授業、学内での留学相談会などです。自身の留学計画から帰国までを発表し、最後に後輩たちへ留学の後押しを行いました。授業後多くの学生さんが質問に来てくださり、熊本に留学志望者がこんなに多くいるのだなと知りました。新型コロナウイルスが終息し再び留学に行けるようになった際、また相談にのれたらと思います。観光業に関しては新型コロナウイルスの影響もあり、実際にガイド活動を行うことはできませんでした。関係者の方に報告をしたあと、対面ではなくインターネットで地域の商品や魅力を広めることに興味を持ち、事後インターンを行いました。



事後インターンと今後について

留学後、観光業を発展させるにはそこに住む人々がその地域をもっと好きになる必要があると思います、快適に暮らせる世の中を作り出すことに興味を持ちました。

そのため事後インターンでは、熊本のEC事業を担う「株式会社ローカル」で約3ヶ月間インターンをさせていただきました。留学中に培った力を活かした場面は、興味のあることに自ら挑戦してみることで。実際に地域の方と企業が商品売り出すまでのプロセスを知りたいと思い、取材に同行させていただきました。地域の方の気持ちも汲み取りつつ、ビジネスとしても成功させる必要がある葛藤や面白さを学ぶことができました。この経験から、今まで地域の方寄りだった考えが変わるきっかけになりました。インターンを通し地元の商品、人の魅力や良さを売り出し、世の中に広めていく仕組みを学び、熊本のこれからの可能性を感じました。春からは、より多くの地域を支援できる仕組みのあるIT会社に入り、多くのことを学ぶ予定です。関わってくださった皆さま、大変お世話になりました。

留学の価値

今回の留学での学びは、自分がどれだけ井の中の蛙だったかを知ったことです。私はこれまで、熊本で地方創生や国際交流活動を積極的に行っていました。なかなか熊本で自分と同じような学生に出会うことが少なかったのですが、今回の留学を機にトビタテ生や留学先での日本人、地元の人、留学生など様々な方と出会い、大きく刺激を受けました。交流を通し自分の未熟さを知り、さらに英語学習に力を注いだり、地域活性化を違う角度から考える機会を創出することが出来ました。



支援者の皆さまへ



この度はトビタテ！留学JAPAN地域人材コースにご支援頂きありがとうございました。皆様のおかげで、有意義な留学を行うことが出来ました。学びたいことを自由に学べる環境、制度がいかに貴重であるか留学中に何度も痛感しました。熊本という地方の中で、外に飛び出す機会を得たのは間違いなくこの制度があったからです。コロナ禍という大変な時期でしたが、大学生のうちに海外で経験を積めたことは一生の財産です。このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。また、県や大学職員の方々、留学前後きめ細かなサポートや温かいお心遣いありがとうございました。皆様のおかげで無事に留学を終えることが出来ました。今後、より素晴らしい後輩たちが留学を目指していくと思います。何卒、お力添えよろしくお願い致します。